

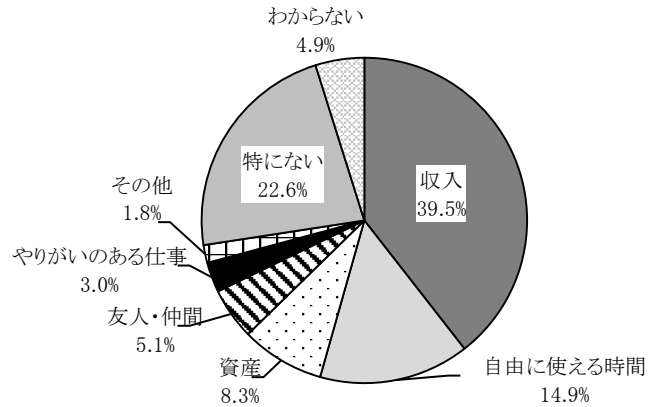
## 問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 自由に使える時間	14.9
2 収入	39.5
3 資産（土地、家屋、預貯金等）	8.3
4 やりがいのある仕事	3.0
5 友人・仲間	5.1
6 その他	1.8
7 特にない	22.6
8 わからない	4.9

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が、39.5%と特に多く、以下「自由に使える時間」（14.9%）、「資産（土地、家屋、預貯金等）」（8.3%）の順となっている。

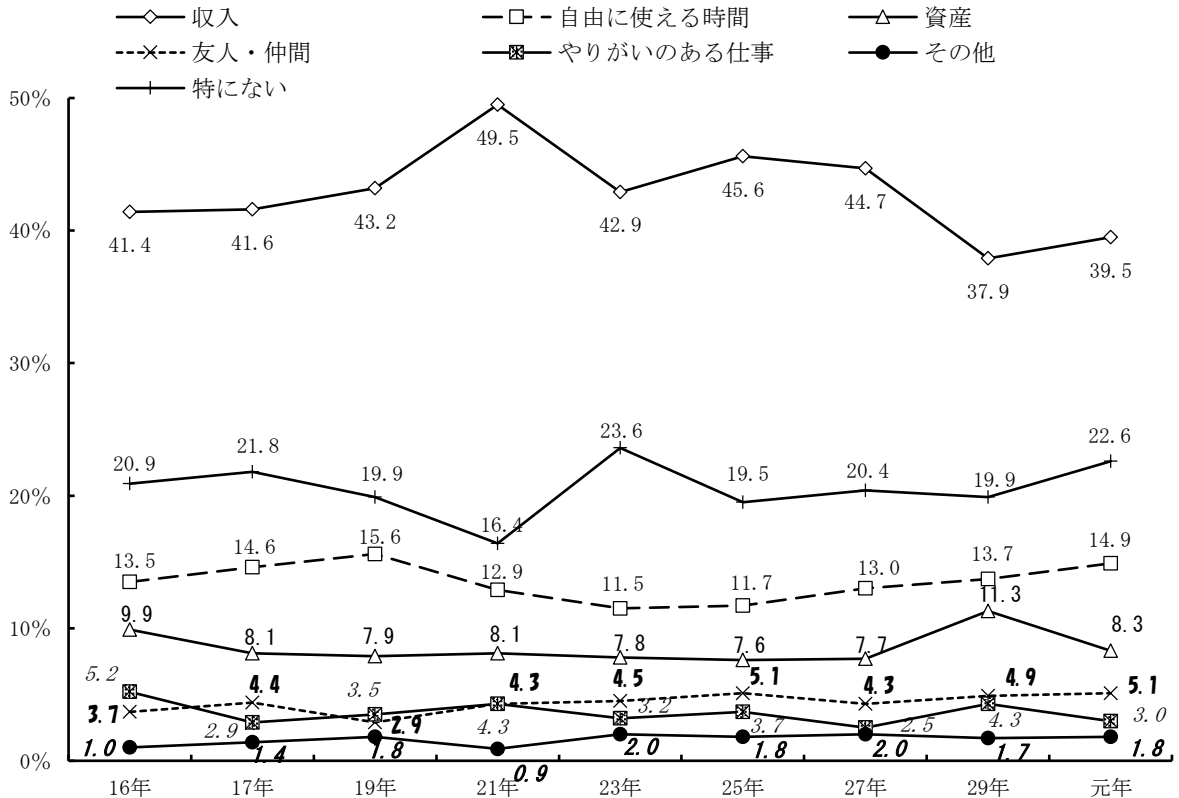
また、「特にない」と答えた人の割合が、22.6%となっている。



### 【経年変化】

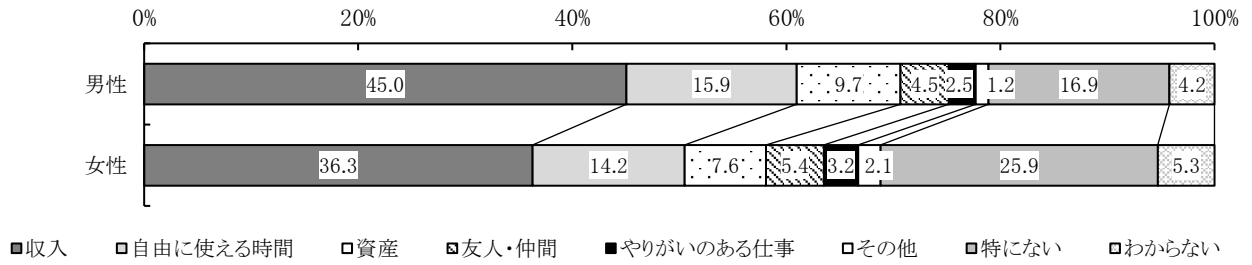
経年変化をみると、「特にない」と答えた人の割合が、前回調査より2.7ポイント増加している。

また、「資産」と答えた人の割合が、前回調査より3.0ポイント減少し、「やりがいのある仕事」も1.3ポイント減少している。



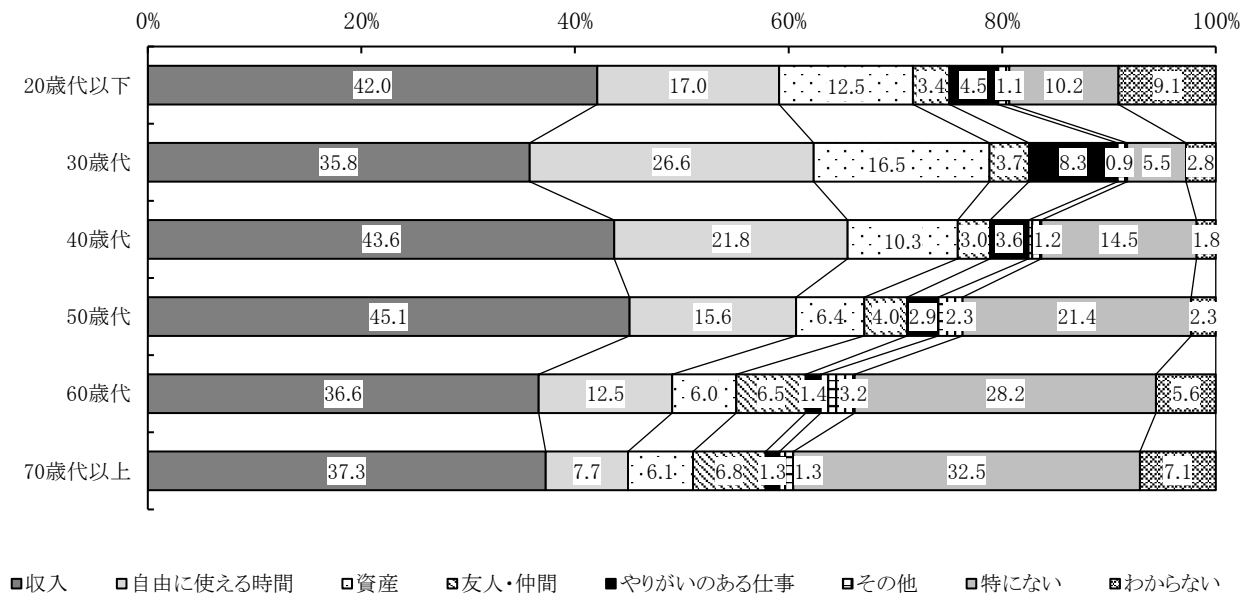
【性別】

性別にみると、男女共に「収入」と答えた人の割合が最も多くなっている。（男性 45.0%、女性 36.3%）  
 また、「特にない」と答えた人の割合は、女性（25.9%）の方が男性（16.9%）より 9.0 ポイント多くなっており、前回調査より女性では 4.8 ポイント増加、男性では 1.7 ポイント減少している。



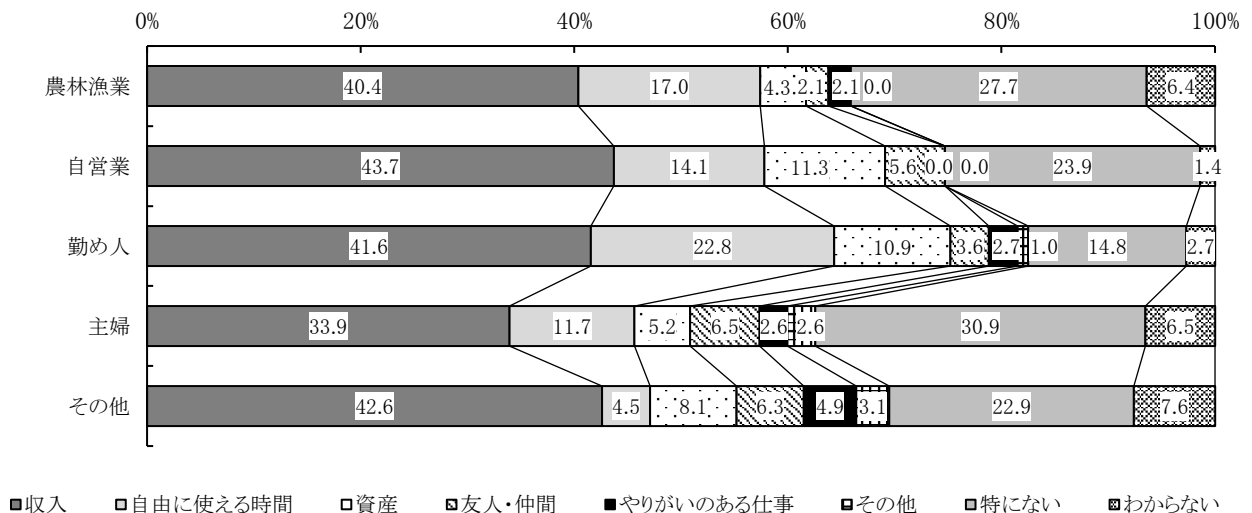
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「収入」と答えた人の割合が最も多く、40歳代では前回調査より 5.9 ポイント増加している。  
 また、60歳代（28.2%）及び70歳代以上（32.5%）では「特にない」と答えた人の割合が、他の年齢層と比較して特になりに多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「収入」と答えた人の割合が最も多く、前回調査と比較して自営業で 11.4 ポイント増加している。  
 また、勤め人では、「自由に使える時間」と答えた人の割合が他の職種と比較して多くなっている。

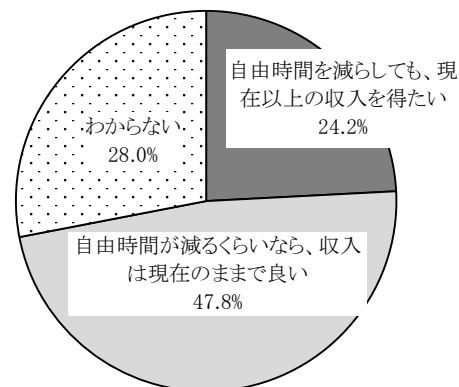


## 問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	24.2
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	47.8
3 わからない	28.0

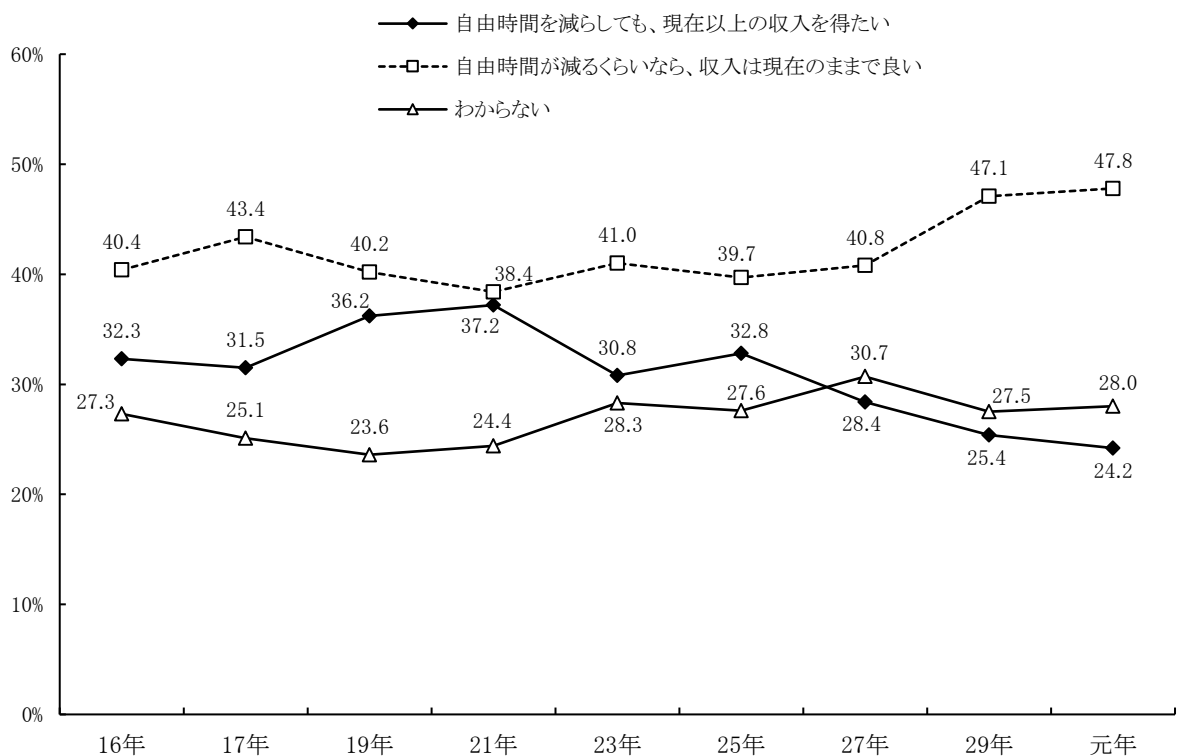
自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」（収入派）と答えた人の割合が、24.2%、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」（自由時間派）が47.8%で、自由時間を重視する人の割合の方が多くなっている。



### 【経年変化】

経年変化をみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、1.2ポイント減少し、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が、0.7ポイント増加しており、その差は23.6ポイントに広がっている。

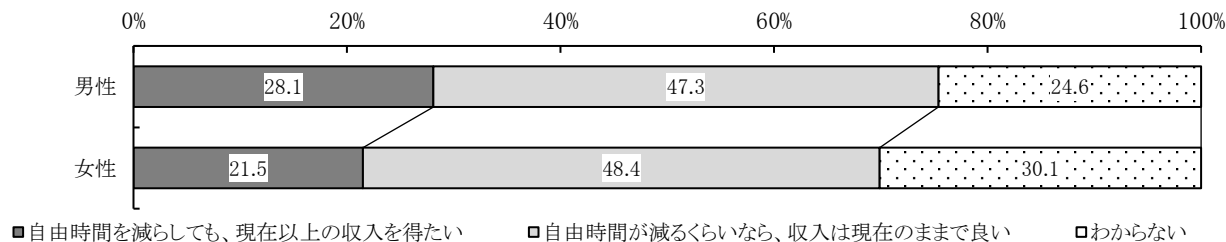
また、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、平成25年調査以降減少傾向にあり、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は、平成25年調査以降増加傾向にある。



### 【性別】

性別にみると、男女共に「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が最も多くなっている。(男性 47.3%、女性 48.4%)

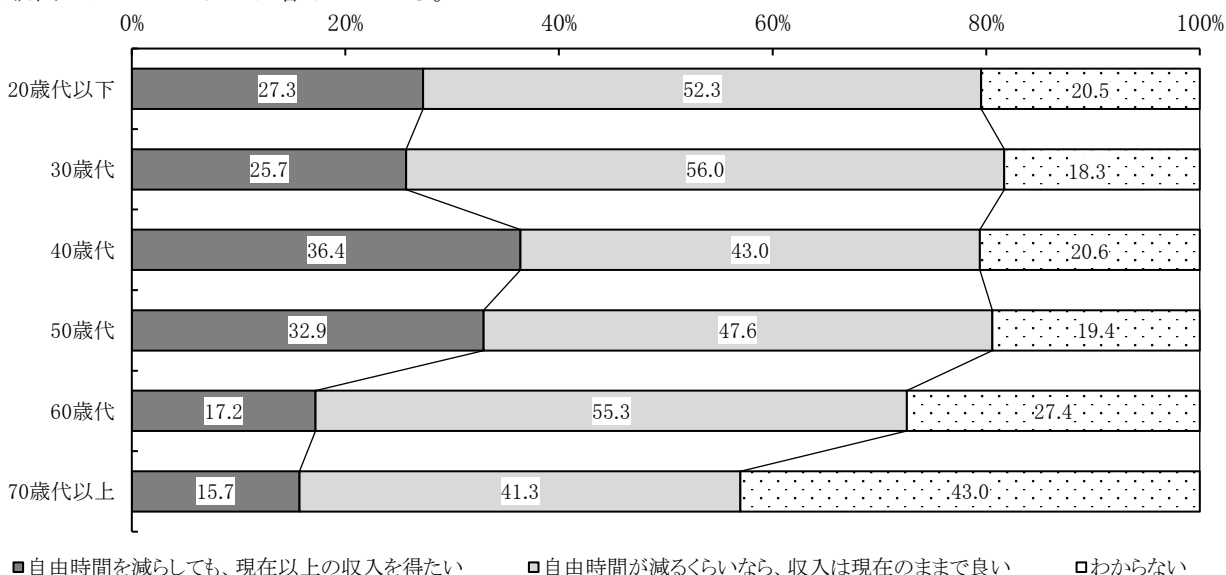
また、前回調査と比較すると、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が、男性で1.0ポイント、女性で0.3ポイント増加している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の方が多くなっている。(70歳代以上では、「わからない」と答えた人の割合が最も多い)

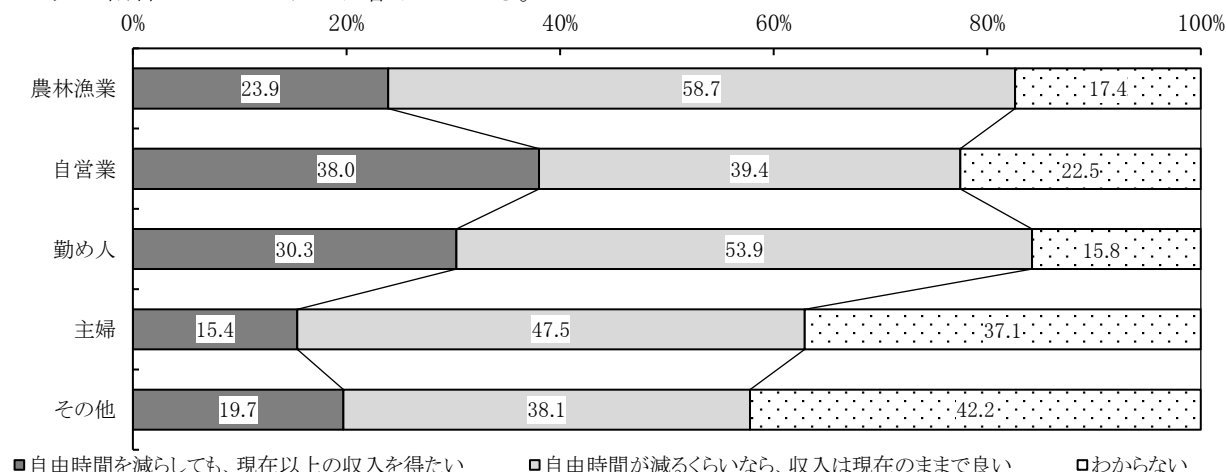
また、前回調査と比較すると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が、50歳代では8.0ポイント増加している。



### 【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合の方が多くなっている。(その他では「わからない」と答えた人の割合が最も多い)

また、前回調査と比較すると、農林漁業では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が13.7ポイント増加している。

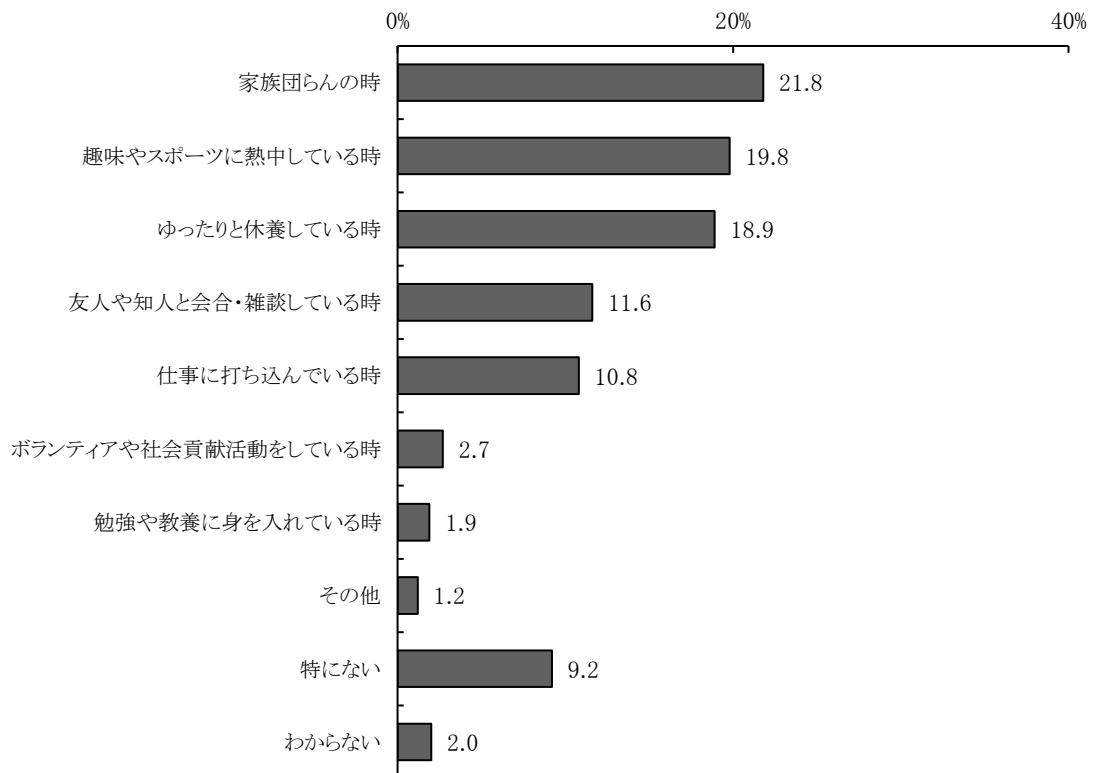


## 問 10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	10.8
2 勉強や教養に身を入れている時	1.9
3 趣味やスポーツに熱中している時	19.8
4 ゆったりと休養している時	18.9
5 家族団らんの時	21.8
6 友人や知人と会合・雑談している時	11.6
7 ボランティアや社会貢献活動をしている時	2.7
8 その他	1.2
9 特にない	9.2
10 わからない	2.0

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が、21.8%と最も多く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(19.8%)、「ゆったりと休養している時」(18.9%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(11.6%)、「仕事に打ち込んでいる時」(10.8%)などの順となっている。

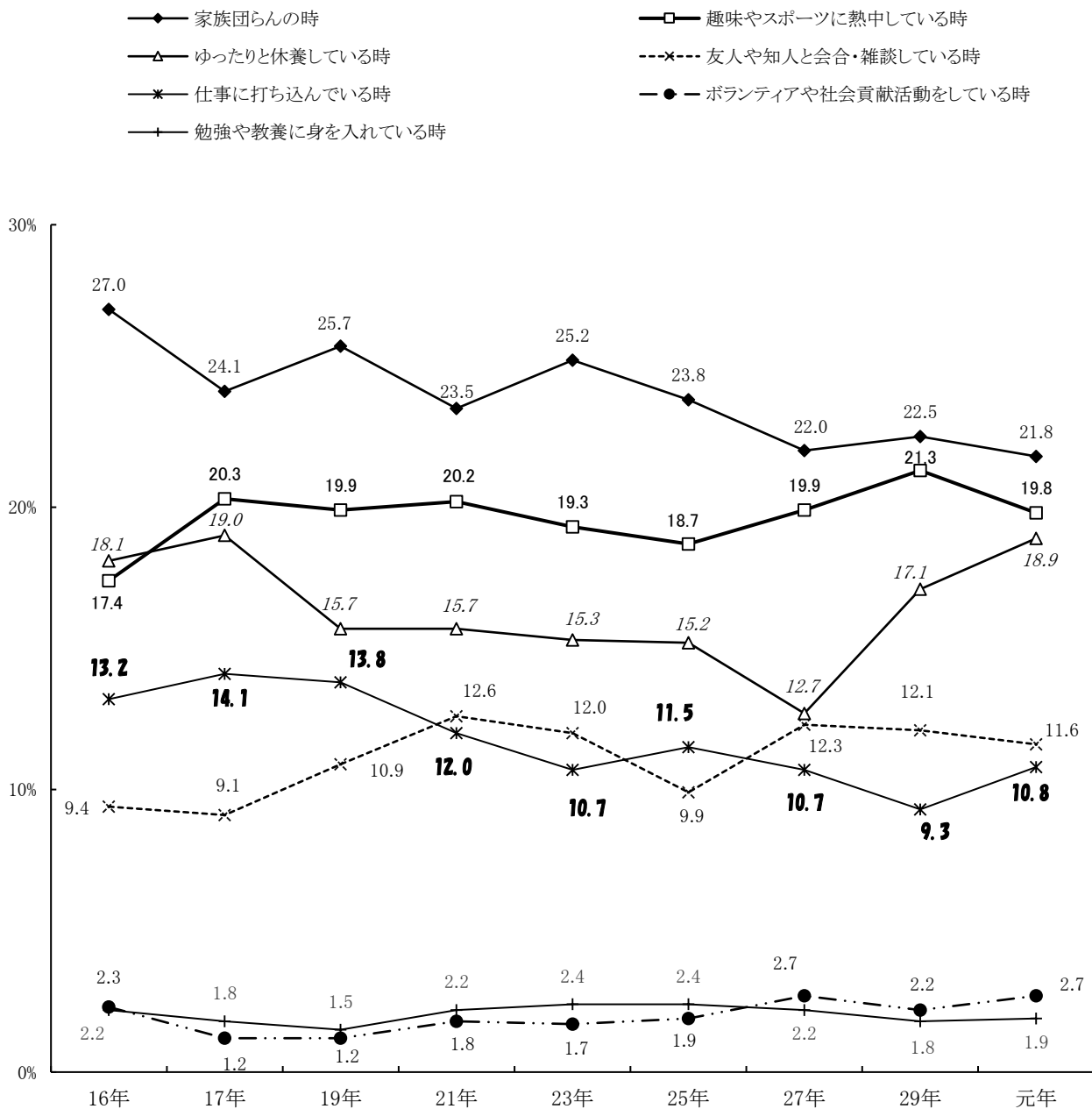


【経年変化】

経年変化をみると、平成 16 年調査以降では「家族団らんの時」と答えた人の割合が、20%以上で最も多くなっている。前回調査と比較すると 0.7 ポイント減少している。

また、「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合は、平成 17 年調査以降は減少傾向にあったが、平成 27 年調査から増加傾向に転じ、前回調査から 1.8 ポイント増加している。

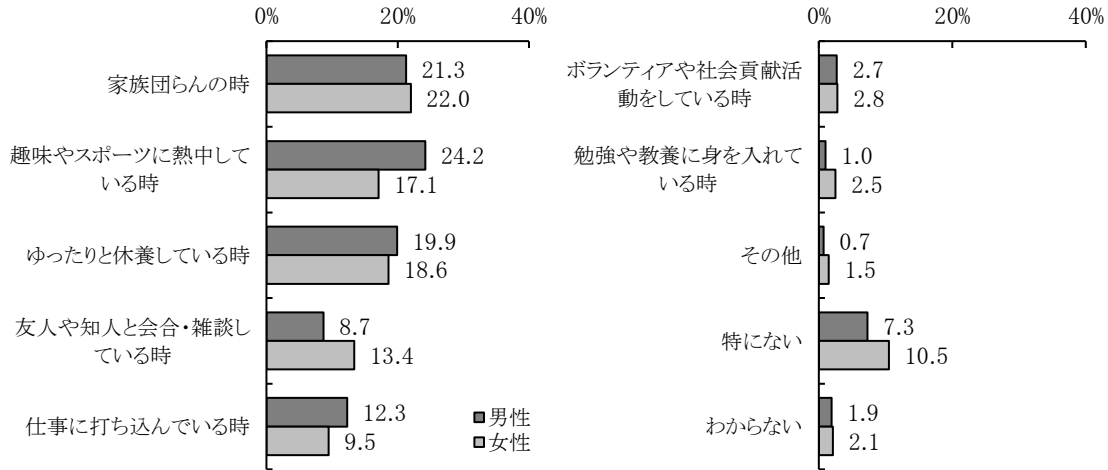
この他、「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合は、前回調査より 1.5 ポイント増加、「趣味やスポーツに熱中している時」は前回調査より 1.5 ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」(24.2%)、女性は「家族団らんの時」(22.0%)と答えた人の割合が最も多い。男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が、女性よりも7.1ポイント多く、女性では、「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合が、男性よりも4.7ポイント多い。

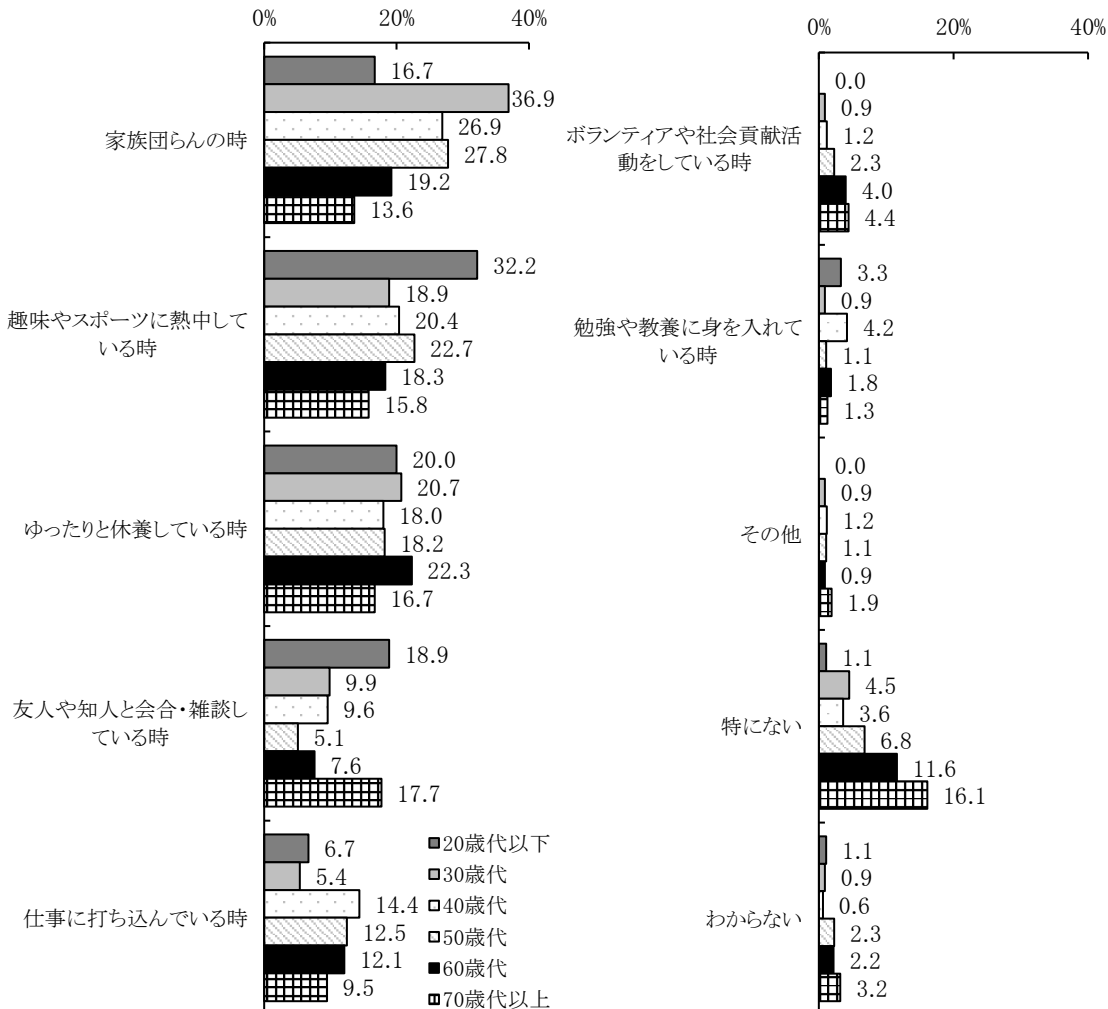
また、前回調査と比較すると、男性では、「趣味やスポーツに熱中している時」が、2.2ポイント減少し、女性では、「ゆったりと休養している時」が、2.5ポイント増加している。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から50歳代では「家族団らんの時」と答えた人の割合が最も多く、20歳代以下では「趣味やスポーツに熱中している時」、60歳代では「ゆったりと休養している時」、70歳代以上では、「友人や知人と会合・雑談している時」と答えた人の割合が最も多くなっている。20歳代以下では、「趣味やスポーツに熱中している時」が他の年齢層と比べて特に多くなっている。

また、前回調査と比較すると全ての年齢層で「ゆったりと休養している時」と答えた人の割合が増加している。

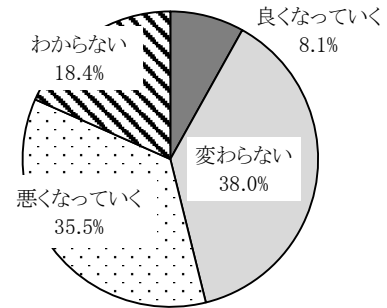


## 問 11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 良くなっていく	8.1
2 変わらない	38.0
3 悪くなっていく	35.5
4 わからない	18.4

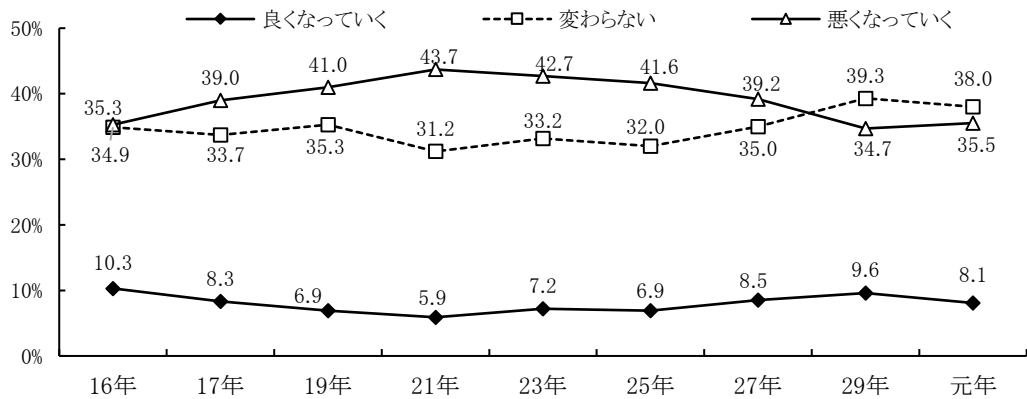
暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「変わらない」と答えた人の割合が 38.0%と最も多く、「悪くなっていく」が 35.5%、「良くなっていく」が 8.1%となっている。



### 【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は、平成 21 年調査以降減少傾向だったが、今回の調査では、0.8 ポイント増加している。

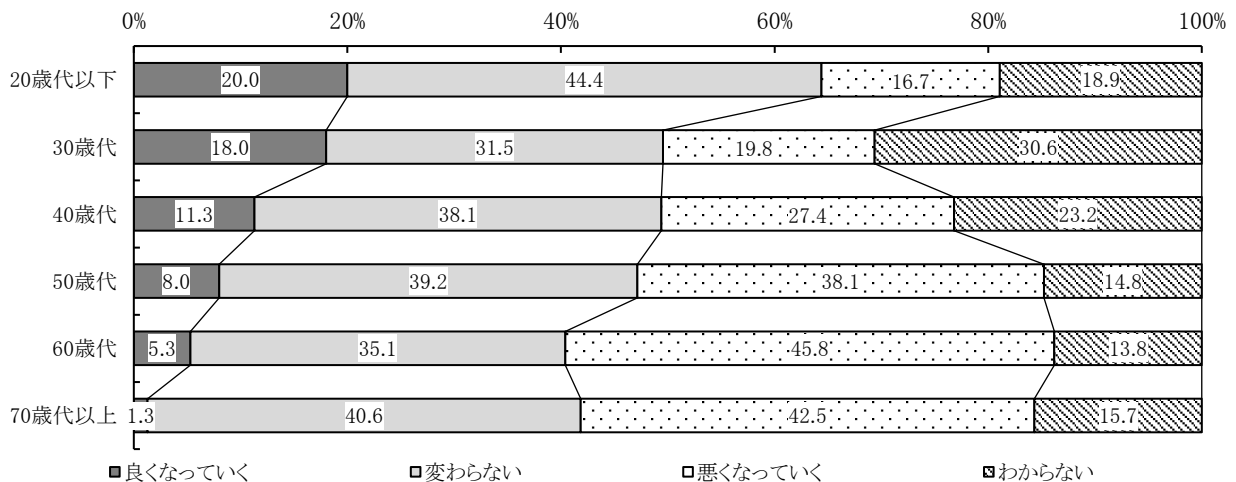
また、前回調査と比較すると、「良くなっていく」が 1.5 ポイント、「変わらない」が 1.3 ポイント減少し、「悪くなっていく」が 0.8 ポイント増加している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代を除く全ての年齢層で「変わらない」が最も多く、60 歳代では「悪くなっていく」が最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、70 歳代以上では「悪くなっていく」が 6.7 ポイント増加、30 歳代では「変わらない」が前回調査より 8.9 ポイント増加している。



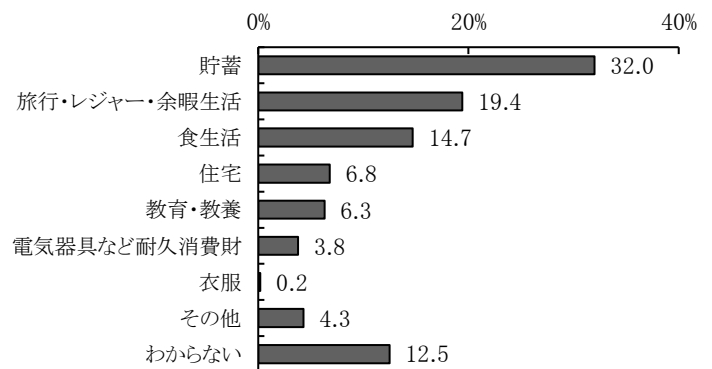


## 問 12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしでどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

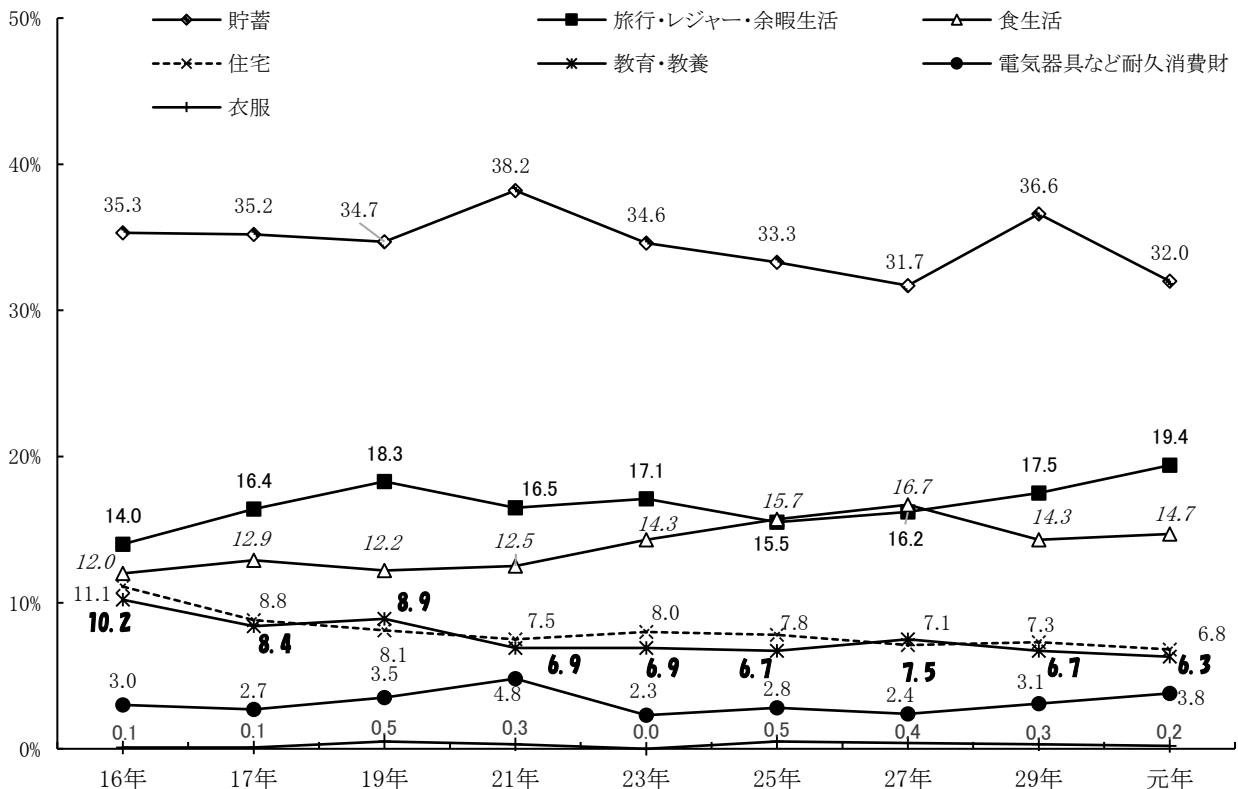
	(%)
1 食生活	14.7
2 衣服	0.2
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	3.8
4 住宅	6.8
5 貯蓄	32.0
6 教育・教養	6.3
7 旅行・レジャー・余暇生活	19.4
8 その他	4.3
9 わからない	12.5

今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が32.0%と特に多く、以下「旅行・レジャー・余暇生活」(19.4%)、「食生活」(14.7%)、「住宅」(6.8%)、「教育・教養」(6.3%)などの順となっている。



### 【経年変化】

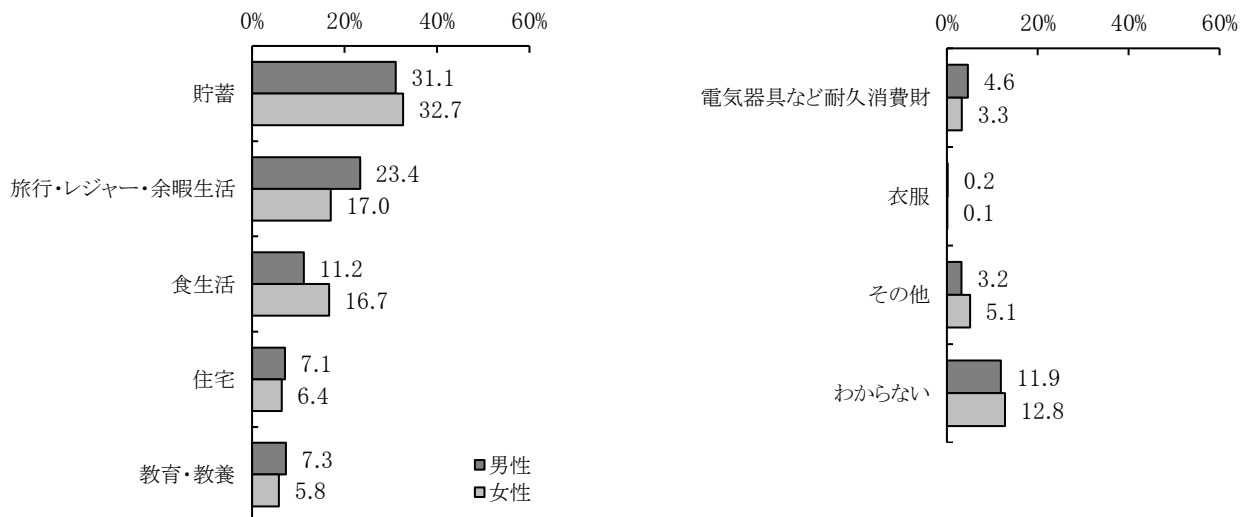
経年変化をみると、「貯蓄」と答えた人の割合が、前回調査と比較して4.6ポイント減少している。また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、平成25年調査以降増加傾向にあり、前回調査より1.9ポイント増加している。



【性別】

性別にみると、男女共に「貯蓄」と答えた人の割合が最も多く、女性（32.7%）の方が男性（31.1%）を1.6ポイント上回っているが、前回調査と比較すると、男性が5.0ポイント、女性が4.6ポイント減少している。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」と答えた人の割合は、男性（23.4%）の方が女性（17.0%）より6.4ポイント多くなっている。

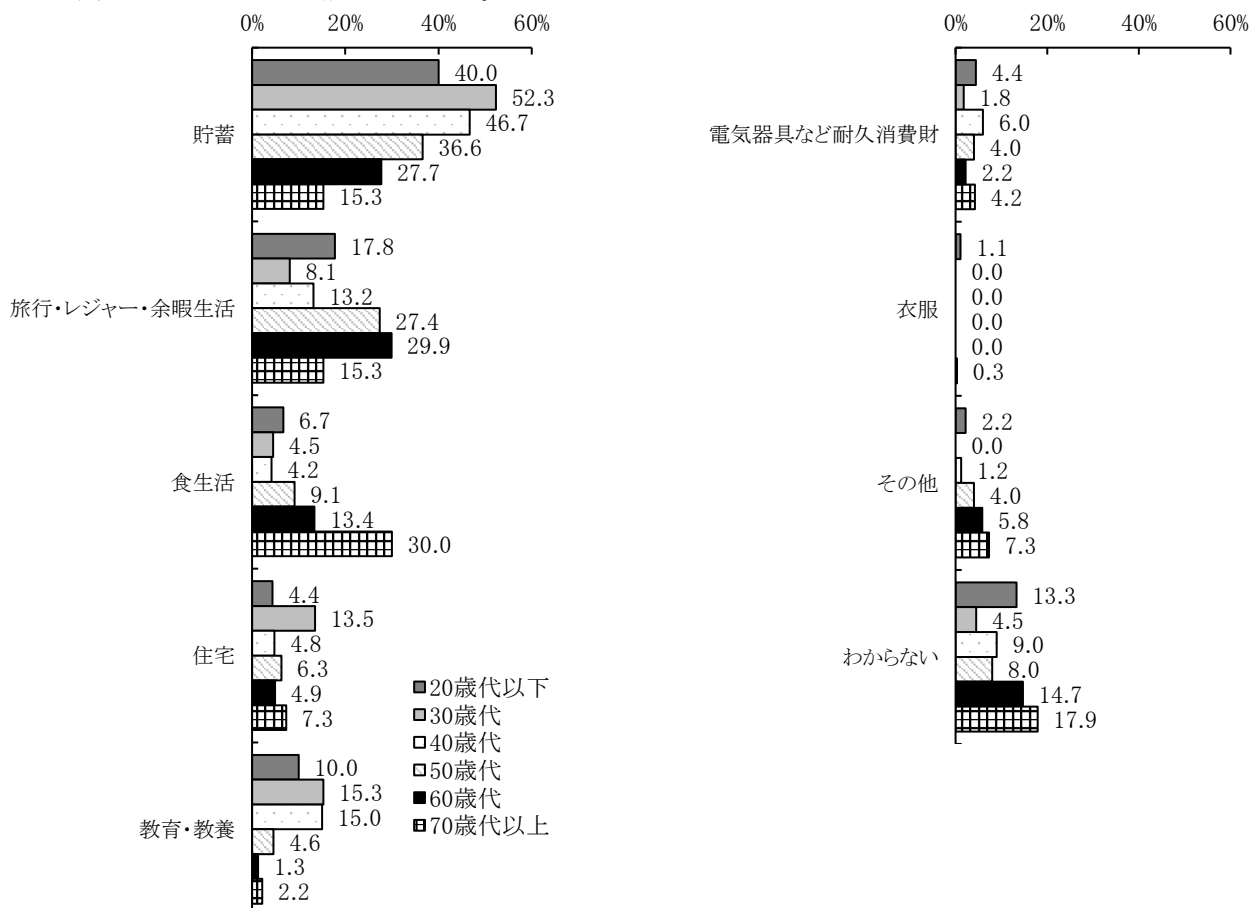


【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下では「貯蓄」と答えた人の割合が最も多くなっている。60歳代では「旅行・レジャー・余暇生活」が、70歳代以上では「食生活」が最も多い。

また、「食生活」と答えた人の割合は70歳代以上で、「教育・教養」は30歳代及び40歳代で、他の年齢層と比較して特に多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「貯蓄」と答えた人の割合が、30歳代で4.8ポイント増加しているが、50歳代で11.4ポイント減少している。



### 問 13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい	24.3
2 まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい	19.2
3 一概にはいえない	41.7
4 わからない	14.7

具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=265人) (%)

1 精神修養・自己研さんに努める	5.3
2 趣味や習い事に生きがいを見つける	13.2
3 健康を大切にする	40.4
4 家族・友人とのふれあいを大切にする	30.2
5 ボランティアなど社会のためにつくす	3.4
6 自然とのふれあいを大切にする	5.7
7 その他	0.8
8 わからない	1.1

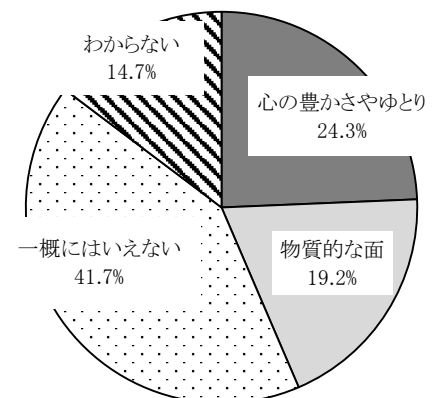
具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=203人) (%)

1 おいしいものをたびたび食べる	12.8
2 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし	25.1
3 広くて設備の整った家に住む	19.7
4 趣味・娯楽に関する良いものを購入する	19.2
5 衣服や身の回りのおしゃれができる	6.4
6 その他	9.9
7 わからない	6.9

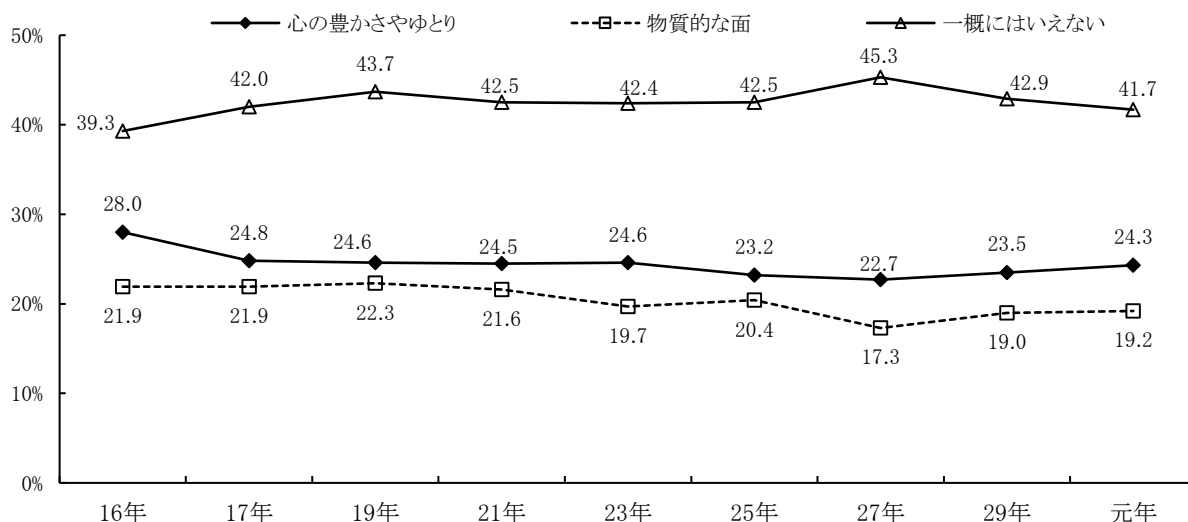
今後の暮らしについて、心の豊かさか物の豊かさかどちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（ゆとり派/以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が24.3%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（物質派/以下「物質的な面」という。）の19.2%を上回っている。

また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は41.7%であった。



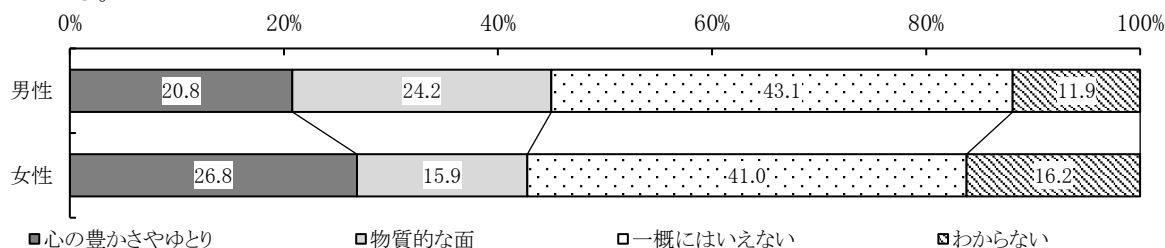
### 【経年変化】

経年変化をみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、平成17年調査以降は、40%台で推移している。今回の調査では、前回調査より1.2ポイント減少している。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、平成27年調査以降は、10%台で推移しており、今回の調査では、前回調査より0.2ポイント増加している。



### 【性別】

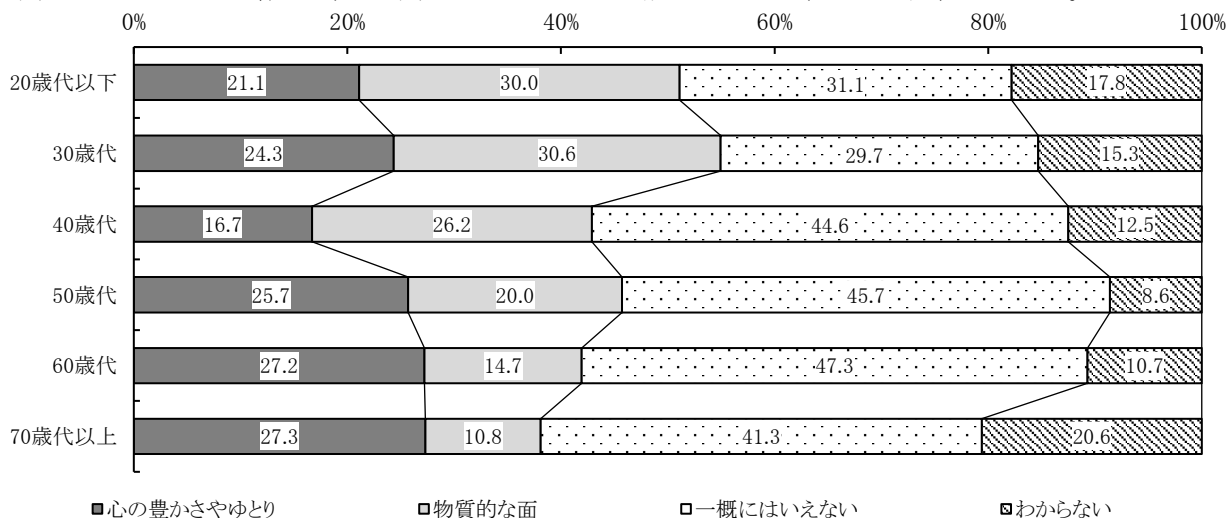
性別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、女性（26.8%）の方が男性（20.8%）より6.0ポイント多くなっているが、「物質的な面」は、男性（24.2%）の方が女性（15.9%）より8.3ポイント多くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は、40歳代以外は20%台であるが、40歳代は16.7%で最も少なくなっている。一方、「物質的な面」と答えた人の割合は、年齢層が低くなると多くなる傾向になっている。

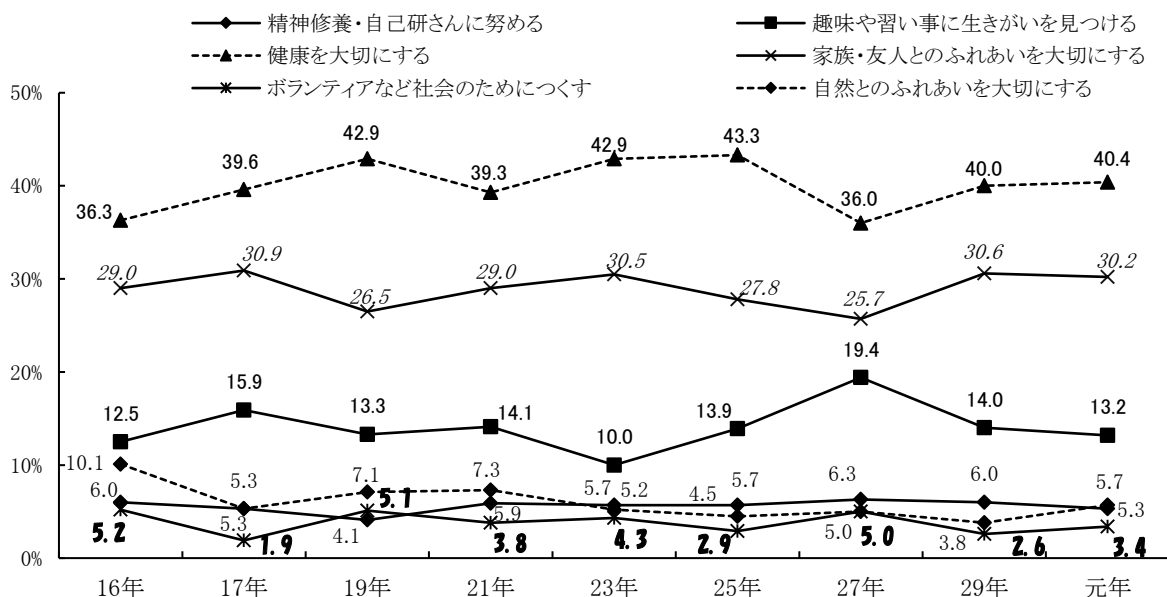
また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は、60歳代（47.3%）で最も多く、前回調査と比較すると、50歳代で3.5ポイント増加し、30歳代で12.7ポイント減少しており、大きく変化している。



## 《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」と答えた人の割合が40.4%と最も多く、以下「家族・友人とのふれあいを大切にする」(30.2%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(13.2%)などの順となっている。

また、経年変化をみると、「自然とのふれあいを大切にする」と答えた人の割合は、前回調査より1.5ポイント増加しているが、「趣味や習い事に生きがいを見つける」は、0.8ポイント減少している。



## 《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」と答えた人の割合が、それぞれ25.1%と最も多く、以下「広くて設備の整った家に住む」(19.7%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(19.2%)などの順となっている。

また、経年変化を見ると、「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」と答えた人の割合は、平成23年調査以降増加していたが、前回調査から減少しており、今回調査も前回調査より0.4ポイント減少した。「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合は、前回調査より5.8ポイント減少している。

この他、「おいしいものをたびたび食べる」と答えた人の割合は、前回調査より3.5ポイント増加している。

